

第70回経営協議会議事要録

日 時 平成27年11月25日(水) 13時00分～14時15分

会 場 大学本部棟5階 第1会議室

出席者 (委員)

内田、丸茂、原、赤澤、奥村、北島、佐山、塚本の各委員

島田学長、早川理事、堀理事、下間理事、杉山理事

(列席者)

鮎川監事、古井監事、白沢学長補佐、高村総務部長、中村人事部長、

本多財務管理部長、松永施設・環境部長、清水教学支援部長、大木総合情報戦略部長、

山田医学域事務部長、望月企画課長、山田研究支援課長、小林総務課長、杉浦人事課長、

九鬼財務管理課長、石原監査室長

議事要録確認

第69回経営協議会(27.9.28開催)の議事要録を確認した。

審議事項

1 第3期中期目標・中期計画(素案)の修正等(案)について

早川理事から、6月に文部科学省に提出した第3期中期目標・中期計画(素案)の修正(案)について、資料1により、文部科学省からの指摘事項及び平成27年度大学教育再生戦略推進費「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」の採択を踏まえて一部修正を加えた旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

2 COC+採択に伴う関係規則の整備(案)について

堀理事から、COC+採択に伴う関係規則の整備(案)について、資料2により、現在のCOC推進センターを廃止し、新たにCOC部門及びCOC+部門を統括する地域未来創造センターを設置することに伴い、本学基本規則のほか、関係規程等の整備を行う旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

3 教育組織の改編に伴う関係規則の整備(案)について

早川理事から、平成28年度からの教育組織の改編に伴う関係規則の整備(案)について、資料3により、生命環境学専攻・工学専攻の設置及び医工農学総合教育部・生命医科学専攻・教育学部への名称変更に伴い、本学基本規則のほか、関係規程等の整備を行う旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

4 平成26事業年度剰余金の使途承認(案)について

杉山理事から、平成26事業年度剰余金の使途承認(案)について、机上配付資料により、文部科学大臣の承認を受けたことに伴い、教育・研究・診療の質の向上及び組織運営の改善に充てるための目的積立金(約8千万円)として病院再開発に使用したい旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

報告事項

1 教育研究評議会の開催状況について

下間理事から、第141回教育研究評議会及び第142回教育研究評議会の開催状況について、

資料4により報告があった。

2 役員会の開催状況について

下間理事から、第161回役員会、第162回役員会（メール審議）及び第163回役員会の開催状況について、資料5により報告があった。

3 国立大学法人山梨大学内部統制システムに関する基本方針について

下間理事から、独立行政法人通則法の一部改正に伴い、本年度当初に本法人の業務方法書に「内部統制システム」の整備に関する事項を追加するとともに、関係規則の整備及び内部統制委員会（学長、理事、副学長から構成）の新設等の体制整備を行った旨の説明があり、資料6により、第1回内部統制委員会（27.11.9開催）を開催し、本法人における内部統制に関する基本的事項について定めた「国立大学法人山梨大学内部統制システムに関する基本方針」を策定した旨の報告があった。

4 平成26年度に係る業務の実績に関する評価の結果について

早川理事から、11月6日に国立大学法人評価委員会委員長から通知のあった平成26年度に係る業務の実績に関する評価の結果について、資料7により、大学院専門職学位課程の学生定員未充足などの課題を踏まえた今後の取り組みが必要である旨の報告があった。

5 第2期中期目標期間に係る業務実績報告書について

早川理事から、国立大学法人法の規定に基づき、国立大学法人評価委員会から評価を受けることとなっている第2期中期目標期間に係る業務実績報告書について、資料8により、作成手順及びスケジュールの報告があった。

6 平成28年度予算編成・財政制度等審議会への対応について

杉山理事から、平成28年度予算編成・財政制度等審議会への対応について、資料9により、財政制度等審議会の提言事項（運営費交付金を今後15年間毎年1%削減し、自己収入を毎年1.6%増加させるべき旨の提言）に対する反論内容等の説明があった。

学長から補足して、机上配付資料により、地元選出の国会議員等に対して基盤的経費の安定的な確保に向けた陳情を実施している旨の報告があり、学外委員から各界有識者への働きかけについての協力依頼があった。

引き続き、学長から、平成28年度予算編成においては、財源をどの程度確保できるか不明であり、かつ相当の緊縮予算としなければならない厳しい状況となっており、事業内容や金額等の精査を行い様々な工夫を検討している旨の報告があった。

7 卓越研究員制度への対応について

杉山理事から、卓越研究員制度への対応について、3分野（発生工学、ワイン科学・応用微生物学、低エネルギー通信システム）を想定する3雇用ポストを文部科学省に提出することとした旨、資料10により、報告があった。

学長から、若手研究者の活躍を促進していくため本制度を活用し、メリハリのある運営をしていく旨の発言があった。

8 「山梨大学大村智記念基金」の創設について

学長から、大村智先生のノーベル医学・生理学賞受賞後の本学の対応状況について、机上配付資料により、記者会見の開催、垂れ幕等の設置及び「特別荣誉博士」の称号授与を行い、受賞記念特別展を本学附属図書館で開催している旨の報告があった。

早川理事から、大村特別荣誉博士ノーベル賞受賞記念特別企画WGで検討を進めている複数事業（記念基金の創設、奨学金の創設、銅像の又はモニュメントの設置、記念ホール（仮称）の建設）

について、資料 11 により、大村先生に了解を得て進めている旨の説明があり、そのうち先行して「山梨大学大村智記念基金」を創設し、募集活動を進めて行く旨の報告があった。

9 その他

(1) 平成 27 年度学長等と外部有識者との意見交換実施状況について

学長から、机上配付資料「平成 27 年度学長等と外部有識者との意見交換実施状況一覧」により、9 月以降の実施状況について報告があった。

以上

学外委員からの意見等

○報告事項3

国立大学法人山梨大学内部統制システムに関する基本方針について

(原委員)

内部統制システムを専任で実行していくことは大変である。細部に渡り分かりやすく整備しておく必要がある。

(学長)

委員からいただいたご意見を取り入れながら、整備を進めていきたいと思えます。